

### 事務事業評価シート(平成25年度実績分)

#### (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
14121	ごみ・資源物収集事業	住民税務課	生活環境係	向山 光	中畑 充夫
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2114
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0461	塵芥処理事業	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	1章	豊かな自然環境を育み活かすまちづくり
		節	(コード選択)	4節	地球環境の保全
項[基本施策]		(コード選択)	1項	循環型社会の構築	
目[主な施策]		(コード選択)	2目	分別推進によるごみの減量化	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input checked="" type="checkbox"/> その他	第五次総合計画			
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

#### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町民(ごみ排出者)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

可燃物や不燃物及び資源物の適切な分別・排出への取り組みを促し、地球にやさしい住みやすい環境づくりを推進する

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

- ごみ収集のきまり及び収集指定日等を設け、「ごみの計画収集」を実施
- ごみを排出する際の「排出負担」(ごみ処理有料化)を実施
- ごみ処理施設で生じる廃棄物の処理費を町が負担
- 資源物の処理費用の一部を町が負担

#### (3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の年間計画収集日数	日	480	480	480	1.00	480
① 説明	町内を8ブロックに分け収集(生ごみ収集についてはモデル地区のみ収集)	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	ごみ・資源物の収集日程に基づく				
② 指標名	可燃ごみ・不燃ごみ(不燃物・粗大ごみ)の年間計画収集日数	日	350	350	350	1.00	350
② 説明	可燃ごみ:各地区週2回、不燃ごみ:月1回	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	ごみ・資源物の収集日程に基づく				

#### (4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の計画収集量	トン	1,175	1,131	1,130	1.00	1,130
① 説明	資源物(古紙・古布・生ごみ・資源プラスチック・アルミ等)の収集量	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	計画値は最近のごみ排出量に基づく				
② 指標名	可燃ごみ・不燃ごみ(不燃物・粗大ごみ)の年間計画収集量	トン	3,050	2,943	2,940	1.00	2,940
② 説明	可燃物・不燃物の収集量	算出方法・計算式・目標値設定の考え方等	計画値は最近のごみ排出量に基づく				

#### (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法  決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み									
		57,461	57,290	56,873	59,159									
対前年比	%		99.7	99.3	104									
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		14,877	14,793	16,876	12,104									
B)一般財源(税金)		42,584	42,497	39,997	47,055									
①事業費	(千円)	50,058	50,062	49,676	52,002									
対前年比	%		100	99.2	104.7									
②人件費の概算	(千円)	7,403	7,228	7,197	7,157									
対前年比	%		97.6	99.6	99.4									
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費									
		H24 H25 H26 H24 H25 H26 H24 H25 H26 H24 H25 H26 H24 H25 H26												
町職員(正規職員)		0.04 0.04 0.04 0.00 0.00 0.00 0.25 0.25 0.25 0.83 0.82 0.82 1.12 1.11 1.11	7,403	7,228	7,197	7,157								
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果		
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある	B 変化していない	住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 衛生自治連合会からの意見による
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要	
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である	B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している	B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった	B 概ね期待したとおりの成果があった	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している	B 今後は可能性がある	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし	B 当面は余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし	B 当面検討の余地なし	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	C	A すでに実施している	B 可能	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
家庭排出の厨芥ごみを堆肥化するため、リサイクル業者に処分委託を引き続き行っている。ごみ・資源物の適正な分別等の普及促進を広報、出前講座等を通じて行う。建設予定の新中間ごみ処理施設等の動向をみながら、将来的にごみを減量し、収集日数(回数)の見直しを行い、収集委託費の削減を図りたい。	[反映内容] 収集委託は3年間の契約によるため

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	ごみの減量化を進め、町内全域での計画収集を実施した。

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
分別収集の徹底により、ごみ排出量の削減、資源化の促進を図ることが重要である。雑紙類の資源化促進や生ごみの減量化等を、出前講座をはじめとする啓発活動によって進めていくことが求められている。また、小型家電製品のリサイクル化の促進についても、検討を進める必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

上記 a~e を選択